

秋季合同例会を名古屋で開催

日本自動車部品協会（JAPA、青木乙彦理事長）は、10月31日、名古屋市の名古屋観光ホテルで平成25年度秋季合同例会を開催し、正会員が21人、準会員が30人参加しました。

秋季合同例会は、主にJAPAの上期（4～9月）の活動報告を行う場としています。

例会は、5月の定時総会で新任となった青木理事長のあいさつで幕を開けました。

青木理事長は、車齢の高齢化がさらに進んでいるとして、優良部品のマーケットがますます重要になると述べ、良質な補修部品をタイムリーに供給するJAPAの責任が一層増してくる、との認識を示しました。

活動報告に入る前に、8月に新たに準会員として入会した富士制動機製作所の袴見泰宏社長が紹介され、社長ご自身が入会のあいさつを行いました。

◆国内部会報告

国内部会長の松村理事が上期の国内部会の活動報告を行いました。

国内部会では、推奨委員会を中心に、新推奨制度を活用した優良部品のPRを展開しています。

このほど、推奨制度の改定に伴い新しくした推奨マークのステッカーを大小2種類作成しました。大きいステッカー（A4サイズ）は事務所用、小さいステッカー（A7サイズ）は車用で、各会員社の営業車両に貼付し、優良部品をアピールしていきます。

順次、各会員社にステッカーを発送する準備を進めています。



5月に新任となった青木理事長



ブレーキシューの「JFBK」ブランドで知られる富士制動機製作所が準会員に。袴見社長があいさつ

また、現在、準会員の約半数が優良部品推奨制度において、認証されていますが、まだ申請されていない準会員に向けて申請をお願いする活動を展開していきます。

◆貿易部会報告

貿易部会では会員による輸出実績の統計を行っています。

例会では貿易部会長の轟理事が2013年1～6月の輸出実績を発表しました。

それによると輸出額は約275億円で、前年同期比で微減となりましたが、これは円高

だった影響が3月まで残っているため、轟部会長は、下期は期待できるとの見解を述べました。

また新推奨マークの中国での商標登録について調査をしましたが、各方面からの情報や、同じく部品団体の実状などをヒアリングしたところ、実効性が低いと判断、中国での商標登録は様子を見ることになりました。

◆記念講演会&懇親会

合同例会では毎年、記念講演会を実施しており、今回は女子プロゴルファーの藤井かすみさんを講師に招き、「ゴルフを通して学んだこと」というテーマで講演をしていただきました。

藤井プロはスポーツ万能だった子供時代や、プロになるまでの苦労などを話してくださった他、実際にクラブを握ってのポイントレッスンや、道具の選び方など、すぐに役立つ貴重なアドバイスをくださいました。懇親会にも参加していただき、サインや記念写真撮影にも気軽に応じてくださいました。

懇親会は西口理事が司会を務め、竹内副理事長が開会あいさつを行いました。

パシフィック工業の長安莞爾社長に乾杯のあいさつをいただき、恒例となっているリリーススピーチなど、なごやかな雰囲気の中で会員同士の懇親を深めました。

◎事務局長交代のお知らせ◎

10月31日をもって、9年近くもの長きにわたり事務局長を務めた佐藤勝英事務局長が勇退されました。後任として自動車タイムス社の石井直子が事務局長を務めることとなり、合同例会において、それぞれがあいさつを行いました。



先輩からの「明日やることは後悔しないこと」との言葉を支えに試合に臨んだという藤井プロ



長安社長の乾杯で始まった懇親会

◎準会員入会と推奨のお知らせ◎

11月1日付けでバンドー化学と光洋販売がJAP Aの準会員に加わりました。

バンドー化学は伝動ベルトのパイオニア、光洋販売はベアリングを中心とする販売会社です。この2社の

加盟により、準会員数は69社になりました。

また日新自動車のPB商品が新たに優良部品推奨制度の承認を受けました。これにより、33社が推奨を受けたこととなります。